議会映像インターネット配信がはじまりました

開成町議会 ギカイだより

No.207
令和3年8月1日発行

- 特集　議会ライブ中継･録画配信開始
- 11人一般質問
- 常任委員会の紹介

開成町議会ホームページはこちらから

開成町議会　検索

開成町議会映像 インターネット配信スタート！

吉田議長、議会映像のインターネット配信について詳しく教えてください！

議会の活動を幅広い世代に知っていただきたいと思い、議会映像のライブ配信と録画配信を6月から始めました。議会のホームページから見ることができます。

この画面ですね！

ライブ中継を見る
[ライブ映像]
本会議等のライブ中継を視聴できます。

はい！まずは、水色の画面はライブ中継を見ることができます。

でも、仕事や学校があるので平日は見られません。何か方法はありますか？

オレンジ色の画面は、日程別に録画映像を見ることができます。　ライブ中継をご覧いただけない場合は、ご活用ください。

議会の日程から選ぶ
[録画映像]
議会の日程から選んで視聴できます。

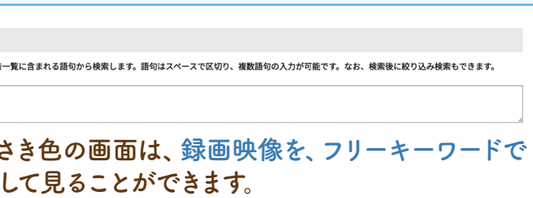
議場のなかの様子を初めて見ました！いつでも見られるのは便利ですね。

字幕があって、とてもわかりやすいです。

緑色の画面は、議員の名前から録画映像を見ることができます。

議員の名前から選ぶ
[録画映像]
議員の名前から選んで視聴できます。

録画映像を検索
[録画映像]
会議名・会議日・議員名・会派名・フリーキーワードの条件で映像を検索することができます。



むらさき色の画面は、録画映像を、フリーキーワードで検索して見ることができます。

とても便利ですね。わたしたちにもできそうです！学校でパソコンの使い方を教わっているので、自宅で議会のホームページを見てみます！

ありがとうございます。議会映像のインターネット配信により、たくさんの方に議会を知っていただく機会になればと考えています。

議会のお仕事をもっと知りたくなりました！少しずつ議会のことを勉強したいと思います。吉田議長、ありがとうございました。

一般質問とは
議員が町に対して質問を行う場です。
町民の皆さんの生活に関わる大切な内容があります。
あなたの生活に密着した内容はありますか？

※ 質問者本人の原稿をもとに、広報分科会委員が会議録に基づき校正しています。

コロナ禍における防災備蓄及び避難所開設の事前準備は万全か

前田 せつよ
議員

一般質問 動画でチェック!

↑前田議員の一般質問動画はコチラから

コロナ禍において本町の防災訓練は従前どおりに実施できない状況にあるため、様々な想定を捉え、積極的な対策を講ずることが町民一人ひとりの安全安心に直結すると考える。

防災備蓄品については、感染症対策物資の充実を図り、廃棄することが決してないよう具体的な施策を展開するべきである。

問 備蓄品の食糧品・紙オムツ・生理用品などをローリングストック（使いながら備蓄）する考えは。

答 昨年は町防災訓練が中止となったため、今後は町内で「こども食堂」を運営する法人やフードバンク等に寄贈し、廃棄することのないよう有効活用を図っていきたいと考える。紙オムツや生理用品などについても、食糧品と同様にローリングストックのような有効活用策を今後検討したいと考える。

問 個々に対して生理用品、紙オムツ等の提供も考えるべきと思うが。

答 様々な自治体の対応策を参考に検討したいと思う。

問 防災備蓄品に液体ミルクの配備を再三提案しているが見解は。

答 今後は液体ミルクを町備蓄として試験的に導入していきたいと考えている。併せて、ローリングストックの備蓄品となるよう保護者の皆さまに啓発を行いたい。

問 避難所立ち上げ時に必要な物品を収納した「避難所開設ボックス」を使い、職員が地域リーダーと一緒に訓練を展開しては。

答 今年度の防災講座の中で、広域避難所の運営方法を学ぶ講座に町民の方々に体験して訓練を行ってもらうメニューを考えている。

問 本町においても、「感震式キーボックス」（避難所の自動解錠ボックス）を設置の考えは。

答 今のところは、導入する考えはない。

富士山ハザードマップの改定に伴う本町の対応について

武井 正広
議員

一般質問 動画でチェック!

↑武井議員の一般質問動画はコチラから

富士山ハザードマップが17年ぶりに改定された。最悪の場合、溶岩流が本町を含む足柄平野２市４町にも到達し、町が消滅してしまうという本町にとって極めて大きな問題が突き付けられた改定である。一方で足柄平野には歴史上溶岩流が到達した事実は無い。

問 町が消滅するかどうかという最重要問題の発表だが町長から町民に対して何の発信も無い。この改定をどう考えているのか。

答 初めて聞いた時は、なんてことだろうと思った。しかし確率は低かろうと対策はしておかなければならない。

問 過去5600年175回の噴火で足柄平野に溶岩流が到達したことは無い歴史の上での、今回の想定である。溶岩流が本町に到達する可能性は限りなく低くむやみに恐れる必要性は無いとのことだが、限りなく低いとはどの程度と考えているのか。

答 机上の計算では本町が溶岩流に覆われる確率は０．０２４％で非常に低い確率である。

問 99・9％本町に届かないだろうという想定と事実も町内外に発信して欲しい。

答 11月頃にまちづくり集会で地域防災計画の中で説明する。８月には、防災特集で広報かいせいに掲載し、また、防災講座を実施し受講者に周知を図りたい。

問 溶岩流は酒匂川上流域の静岡県鮎沢川から流入してくるのでこの際、酒匂川全体の管理を県から国に任せるべきではないか。協議会で訴えていただきたい。

答 その動きもしている。すぐ実現とはいかないが広域の中で仲間を増やしながら動いていきたい。

問 避難計画全体の策定はいつ頃を考えているのか。

答 活火山対策特別措置法の中では義務ではないが、今年度末を目標に計画作りを進めていきたい。

官民連携による民間活力の活用を

佐々木 昇
議員

一般質問 動画でチェック!

↑佐々木議員の一般質問動画はコチラから

いまだに収束が見えないコロナ禍により、本町においても本年度の町税収入は減収となる見込みである。コロナの影響は、地方公共団体の話ではなく、民間企業も大きな影響を受けている業種も多々あるが、こういったときこそ専門的知識と経験を持つ民（ＮＰＯや団体、町民など多様なものを含む。）と連携して新しい取組みを始めるべきと考える。

問 今後の官民連携による取組み策は。

答 令和３年度は、延期されていた町民活動サポートセンターの開設に向けて、町民センターの改修、備品の整備等の準備を進めている。協働推進計画の事業を着実に進めるとともに、町民活動サポートセンターを拠点に、町民公益活動団体等の活動を支援し、協働のまちづくりを推進していく。

問 昨年末に近隣の自治体で民間の力を活用して、広報のポスティングを始めようとしている報道があった。本町ではこの取組みについて検討等はされたのか。

答 現在、そういった先行自治体、また、広告会社、ポスティング事業者等の情報を収集している段階である。

問 ポスティングの費用の仕組みは。

答 広報誌等と一緒に、民間事業者の広告物が同封される形になっている。こういったものを同封、同梱する広告の収入で費用の一部を賄うといったものである。これによって、通常よりも安価な形でポスティングができるという仕組みになっている。

問 ポスティングの取組みは、広報が全戸に届く可能性があること。また、自治会役員の負担軽減につながることなどを考えると、前向きに検討を進めるべきと考えるが。

答 前向きに検討していきたい。

新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況と今後の見通しを問う

石田 史行
議員

一般質問
動画でチェック!

↑石田議員の一般質問
動画はコチラから

政府の発表によれば、6月末には全国の高齢者全員が2回打てる分量のワクチンが各地に届く見込みとなり、今後は接種のスピードをいかに加速化していくかが、自治体の重要な使命となる。

問 高齢者接種について集団接種、個別接種の進捗状況と課題は。

答 65歳以上の方の接種状況は、1回目接種が完了している方が54・4％、2回目を終了した方が7％となっている（6月15日時点）。高齢者接種は7月末の完了を目指しており、個別接種も各医療機関へ確実に配送できている状況から目標を達成できると考えている。

問 予約した方が急遽キャンセルしてワクチンが廃棄される事例が各地で発生しており、ワクチンが余った場合を想定した取組みを各自治体が進めている。保育園、小中学校等でクラスターが各地で報告されているので、幼稚園の教諭、町内の保育園の先生方に余ったワクチンを接種することを検討されてはどうか。

答 高齢者の日常生活を維持する役割を担うこと、施設内のクラスターの発生を予防するという観点から①居宅サービス事業所等の訪問サービス事業の従事者②幼児教育保育従事者③町立学校の教職員④役場職員の4職種について、ワクチンロス対策の職種として位置づけている。4職種の方には、登録していただき、順次対応したいと考えている。

問 自治体によっては64歳以上の住民にも接種券を一斉送付し、7月中にも接種を開始する事例もある。64歳以下の町民に対して、早期に接種券を発送すべきではないか。

答 64歳以下の全町民に対して、7月10日までに接種券が届くように発送の準備を進めている。

公共施設のトイレについて町の考えは

湯川 洋治
議員

一般質問
動画でチェック!

↑湯川議員の一般質問
動画はコチラから

コロナ禍の影響や健康増進の運動としてウオーキングを取り入れる町民が増加し、サイクリングコースは絶好の場所である。周辺には施設はあるがトイレ使用は難しいところがある。水辺スポーツ公園や酒匂川ふれあい館のトイレを開放できないか。また公園のトイレを洋式への移行を図るべきでは。

問 水辺スポーツ公園のトイレを24時間開放できないか。

答 当該トイレについては公園指定管理者に委託し、公園の利用者に開放している。開園中はサイクリングコースの利用者にも開放している。防犯に係る安全上の観点から開園時間以外は開放する考えはない。

問 水辺スポーツ公園の屋外トイレの傾きについて。

答 屋外トイレの傾きについては承知している。現地確認を行い現状は維持管理していくうえで危険な状態でないと判断している。施設の修繕を含めた維持管理はその都度検討して行う必要があると考えている。

問 酒匂川ふれあい館のトイレの土曜・日曜以外の開放は。

答 トイレの開放については、展示施設の開放に合わせた土日のほかに、祝日、あじさい祭り期間中、学校夏季休業期間に開放している。現在平日の開放は考えていない。

問 公園を含めた公共施設トイレの洋式への移行については。

答 公園のトイレについては酒匂川ふれあい館を含めて14箇所に設置している。主要な公園には多目的トイレを整備し全体の71％の10箇所に洋式トイレがある。残り4箇所の和式トイレについては、故障があった場合洋式トイレへの交換を検討したい。

問 4箇所の自治会からは、トイレの洋式化の要望は出ていないのか。

答 特に洋式化への要望は受けていない。

持続可能な水路の維持管理と利活用について問う

井上 慎司
議員

一般質問
動画でチェック!

↑井上議員の一般質問
動画はコチラから

豊富な水資源が魅力の本町では、水路は景観や環境を形成する大きな要素であるが、維持管理の対応が今後の大きな課題となっていくことが予想される。

問 かいせいクリーンデーの度重なる中止により手入れが行き届かなくなっている水路の現状は。

答 4回連続の中止となった影響で、町民から水路の草の繁茂について御連絡をいただくことが増えており、その都度、現場を確認して状況に応じて必要な対応を取っている。

問 自発的に自宅近くの水路の草刈りや土砂上げをされている町民が多数おられる。そういった方々がおられることは、町は把握されているか。

答 そういった方がおられるというのは目にしており、大変感謝している。

問 自発的に水路の美化や維持をされている方々に対して、町として何らかの支援をしていただきたいが、本町の公園・道路緑地ボランティアの制度で水路清掃の保険適用は可能か。

答 自治会活動などであれば適用になるが、個人的な活動は適用外になるかと思う。

問 水路の保全ボランティアを行っている自治体では、ボランティア保険をかけ、ごみ袋と土のう袋等の配布をし、必要に応じて、その土のう袋の回収も行政が行っている。町内水路の保全を官民一体となって進めていくために、こういった取組みを前向きに検討していっていただきたいが。

答 他の自治体の例も含めた中で研究していく。

問 小水力発電所の増設は考えているか。

答 現実的に新たな発電所の増設は考えていない。

問 水路以外での創エネの考えは。

答 環境に優しい家庭の中の電力というものを考えていただけるPRをしていきたい。

ごみ集積場の管理強化策を問う

星野 洋一
議員

一般質問
動画でチェック!

↑星野議員の一般質問
動画はコチラから

ごみ集積場の使用状況についてはかなり問題がある所もある。不適切な曜日のごみ出しや、不法投棄と思われるごみが出されている場所も目立ち、ごみ収集業務の妨げや環境・景観保全的にも問題となっている。

問 ごみ集積場でごみがあふれてしまう所にQRコードを掲示することにより解消につながると考えるが。

答 ごみの出し方で大変戸惑う場面も多いと思う。住民の方により分かりやすいサインとして、そのような考えも取り込んで柔軟に対応して行きたい。

問 集積場によっては、他の自治体のごみが不法投棄されているという状態があるが、町は把握しているか。

答 他町から持ち込まれたケースがある。地域の美化推進員の協力を得て、その場で注意をしていただいたケースもある。

問 ごみ集積場で、箱状にしてフタができる形に変えて、今まで荒れていた所が収まって、かなり改善され、きれいな状態になっている所もある。そのような形状のものを増やす考えはないか。

答 町で用意した所が一箇所ある。実証実験で、金網タイプで、その中にごみを投入するものを2基、同じ場所に導入している。大量に出せない、またフタが重たいという話も聞いている。

問 監視カメラは不当投棄に対する大きな抑止力になり得ると考える。必要とされる集積場や、地域の環境とか景観保全のために、ぜひ、前向きに検討してもらいたい。

答 監視カメラは現在2か所、設置をしている。設備的には、あと2台、別に持っている。要望等あればすぐにでも対応できる体制を取っている。

南箱道路（愛称、はこね金太郎ライン）開通に伴う足柄上地域の地域活性化策及び諸課題は

下山 千津子
議員

一般質問
動画でチェック!

↑下山議員の一般質問
動画はコチラから

4月28日、「はこね金太郎ライン」が開通した。観光客の周遊ルートや生活道路、更に災害時の代替ルートもでき、圏域の安全も確保された。新たな観光ルートの誕生に伴う広域連携による観光振興をはじめとする地域活性化策を講じる必要があると考える。

問 国際観光都市箱根町との連携を意識した足柄上地区の観光振興策にかかる事前調整の状況は。

答 当地域の魅力を発信し、観光客の誘致、地域振興を目的に「あしがら地域着地型観光推進実行委員会」により、着地型観光事業を推進し箱根町観光協会にツアーの委託をし、首都圏、神奈川県内の皆さんへのツアーを行っている。

問 今後予定する具体的な取組みは。

答 箱根町観光協会との連携で着地型観光ツアーの実施、あしがら観光協会との連携で観光ガイドマップの作成、一般社団法人日本自動車連盟ホームページを活用した地域の情報発信、「あしがらローカルブランディング」によるグッズの作成等、各市町と連携して観光振興に取り組んでいく。

問 町における観光振興に結び付く具体的な取組みは。

答 南足柄市の道の駅に訪れる方が、本町に足を運んでいただけるよう瀬戸屋敷の案内看板を設置し誘客に効果を上げている。各市町の観光施設にパンフレットを配布している。今後、町の観光マップやあじさい祭りで作成するチラシ等にはこね金太郎ラインを地図に加え、本町が箱根から近い事を示して回遊を促して行きたい。

問 足柄地域の新たな観光の取り組みに自転車を取り入れては。

答 イベントとしてはこね金太郎ラインを入れることは可能だと思うが、安全上の問題を考えながらやっていきたいと思う。

新庁舎建設に関わる費用の総額と維持費について問う

山本 研一
議員

一般質問
動画でチェック!

↑山本議員の一般質問
動画はコチラから

役場新庁舎は、供用開始から1年が経過した。2018年7月から始まった新庁舎建設に伴う一連の工事は、現在跡地の整備が進められている。

問 新庁舎整備事業が終了を迎える現在、新庁舎建設に関連する一連の事業費はいくらか。また、今後の維持費と、ランニングコストは。

答 最終の新庁舎本体工事については、24億1844万円ほどであり、新庁舎関連の費用総額は、約32億1300万円となる予定である。新庁舎の維持費は年間約2,900万円、メンテナンス費用は、今後10年間で約1億2000万円を見込んでいる。

問 総額のうち、一連の事業費はそれぞれいくらか。

答 プールの解体、設計工事費で、2687万円、庁舎本体と付随する外構工事を合わせると25億1444万円。什器、備品関係で1億8403万円。旧庁舎の解体工事費が1億5867万円。外構、周辺環境整備含め1億483万円となっている。

問 32億円はかなり高いという印象を受けるが、町長の印象は。

答 32億の数字の中には、補助金や様々な努力の結果が入っている。私は、その金額に見合ったものができ上がったと思っている。

問 新庁舎は、日本初のZEB庁舎であり、防災拠点だが、一番重要なのは町民サービスの拠点として、多くの町民の皆さんに喜んで活用していただくことではないか、その活発な利活用に関して、これから議論が必要ではないかと思いうが、町長の考えは。

答 全くそのとおりだと思う。町民の皆さんのために使えるように、いろいろなアイデアをいただきながら活用していきたいと考えている。

コロナ禍における高齢者の心とからだのケアについて

茅沼 隆文
議員

一般質問
動画でチェック!

↑茅沼議員の一般質問
動画はコチラから

コロナ禍において外出の自粛が呼びかけられている。移動や交流の機会が減少し、高齢者の心身に大きな影響があったと推察される。

問 心身の健康維持や体力の維持などに対する取組みは。

答 自宅でできる運動とフレイル予防のチラシをすべての高齢者世帯に配布した。また、自治会館などの集会施設で健康相談や体力測定を実施した。

問 老人会などの集会を開くことができない中で、コミュニティの断絶に対する取組みは。

答 友愛活動の一環で安否確認を兼ねて会員の家を訪問し、声掛けをしている。民生委員児童委員も様々な方法で見守り活動を実施している。

問 孤立感を和らげる取組みは。

答 ひきこもりを防止し孤立感を解消するために、社協がウオークラリーやつぶやき交換日記を実施している。また新聞店、乳酸飲料販売店、社協と協定を締結し、高齢者の安否確認を実施することで地域の安心に寄与している。

問 ケアを必要としている高齢者は何人と認識しているのか。

答 高齢者単身世帯443世帯と高齢夫婦世帯713世帯。高齢者単身世帯については、十分に配慮していきたい。

問 温泉施設を利用した運動教室は、いつ頃、どのような方法で実施するのか。

答 山北町のさくらの湯を想定し、10、11月に150人を予定している。

問 高齢者に対し総合的なケアの内容を町民に知っていただくことが必要であるが、いかがか。

答 介護予防の観点からも重要な課題であり関係機関と連携し高齢者の心と体のケアを進めていき、町民の皆様に安心していただけるように周知を徹底していきたい。

新型コロナウイルスワクチン接種予約の支援について問う

井上 三史
議員

一般質問
動画でチェック!

↑井上議員の一般質問
動画はコチラから

65歳以上にワクチン接種クーポン券が配布され、集団接種・個別接種の予約が始まり、ようやく明るい兆しが見え始めた。

しかしながら、ワクチン接種の予約を取りたいが電話が通じない、スマートフォンやパソコンの使い方が分からないので予約の取り方が難しい、病院に行くのが困難であるといった高齢者の声を聴く。

問 集団接種コールセンターは予約第一弾より第二弾に向けて何か改善し、予約を取りやすくしたか。

答 特に大きな改善はないが、今回も非常に希望が多くて枠が埋まってしまうような状況に備え、集団接種はもちろん、個別の医療機関も含めて最初からキャンセル待ちという予約受付をするよう本町からコールセンターに依頼した。

問 医者に行くのが困難な高齢者もおられるが具体の支援は。

答 相談があれば、ケアマネージャーあるいは包括支援センターのヘルパーが受診介助、移送サービスや福祉タクシーの算段などを一緒に検討してかかりつけのところ等を受診して接種できている。また、日頃からかかりつけ医の往診を受けている場合、その延長上で往診の際に接種を受けている。

問 中家村自治会と自治会有志が協力して予約を代行した。スマホやパソコンを操作し早い段階で7人全員予約が取れた。高齢者の予約支援を求めるニーズは町内全体ではかなり高いのではないか。町からの協力要請があれば、他地区自治会に出向いていって予約支援ができると言っているが。

答 あまり集団接種に駆け込んでいる状況でもないことを考えると、ありがたい申出ではあるが、現在のところお願いをする状況にはない。

私たちは次のように 決 賛成×反対 しました

令和3年開成町議会6月定例会議議案審議結果

提出	議決日	議案名	審議結果	下山千津子	佐々木昇	武井正広	前田せつよ	茅沼隆文	星野洋一	井上三史	山本研一	石田史行	井上慎司	湯川洋治
町長	6月21日	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	意義なしとして議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		開成町水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和3年度開成町一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		財産の取得について（開成町立小中学校電子黒版）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

★吉田敏郎議長は採決に加わりません。○は賛成した者　●は賛成しなかった者　「除」は除斥　「欠」は欠席

令和3年開成町議会6月随時会議議案審議結果

提出	議決日	議案名	審議結果	下山千津子	佐々木昇	武井正広	前田せつよ	茅沼隆文	星野洋一	井上三史	山本研一	石田史行	井上慎司	湯川洋治
町長	6月30日	工事請負契約の締結について（令和3年度文命中学校大規模改修工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

★吉田敏郎議長は採決に加わりません。○は賛成した者　●は賛成しなかった者　「除」は除斥　「欠」は欠席

委員会レポート

総務経済常任委員会

委員長：石田 史行　副委員長：佐々木 昇
委員：下山 千津子・星野洋一・井上 慎司

委員会の名称はちょっと堅苦しいですが、道路、消防、まちづくり、ごみ、防災、防犯など町民の皆さまの生活に直結する事項を所管する委員会です。

現在、委員会として「後退用地等の取り扱いについて」を所管調査項目として決定し、具体的な調査を開始したところです。町民目線に立った調査を進めてまいります。

石田　史行

教育民生常任委員会

委員長：山本 研一　副委員長：武井 正広
委員：前田 せつよ・茅沼 隆文・井上 三史・湯川 洋治

教育民生常任委員会は、町民福祉部、教育委員会の所管に属する事項の調査を行います。

任期２年の間に２項目の調査を行う予定で、まずは高齢者福祉のさらなる向上を目指して、「高齢者の福祉行政に関する実情と今後のあり方について」を調査項目に挙げ、実情をしっかり把握して高齢者が元気に充実した暮らしができるよう取り組んでまいります。

山本　研一

委員会レポート

広報広聴常任委員会

委員長：星野 洋一　　副委員長：前田 せつよ
委員：下山 千津子・佐々木 昇・武井 正広・茅沼 隆文
井上 三史・山本 研一・石田 史行・井上 慎司・湯川 洋治

広報広聴常任委員会は、議長を除く議員全員11名で構成され活動しています。２つの分科会に分かれ、広報分科会は、議会だよりの編集及び発行を行い、広聴分科会は、議会の広聴の実施・調査・研究等を行っています。今、コロナ禍の情勢ではありますが、広報・広聴に新たな視点を取り入れ活動を模索していこうと新体制のもと動き始めています。

星野 洋一

編集後記

６月定例会議から、議場でのやり取りが映像で配信されています。「ライブ配信」と自分の好きな時間で観られる「録画配信」です。議員一人ひとりが町に対して質問する（一般質問）、また町から提出された議案等を審議する様子が分かります。映像配信を契機に、議会だよりも「ギカイだより」とし、町民の皆さまにとってさらに、読みやすいものに進化していきたいと考えています。ご期待ください。

星野 洋一

開成町議会発行 編集 / 広報広聴常任委員会（広報分科会）

広　告

開成ロックセキュリティ
カギのお困りごと
地元の鍵屋が直ぐに対応
いたします。
電話　0465-82-9810

広　告

10月3日(日)
リサイタル
開催決定！
南足柄市文化会館大ホール
13:30開演
入場料500円
詳しくはこちら

開成町議会発行 編集／広報広聴常任委員会（広報分科会）〒258-8502　神奈川県足柄上郡開成町延沢773
TEL. 0465(84)0323 FAX. 0465(20)5272　メールアドレス gikaijimu@town.kaisei.kanagawa.jp